

MRゴーグルによる 自転車誘導ナビゲーション



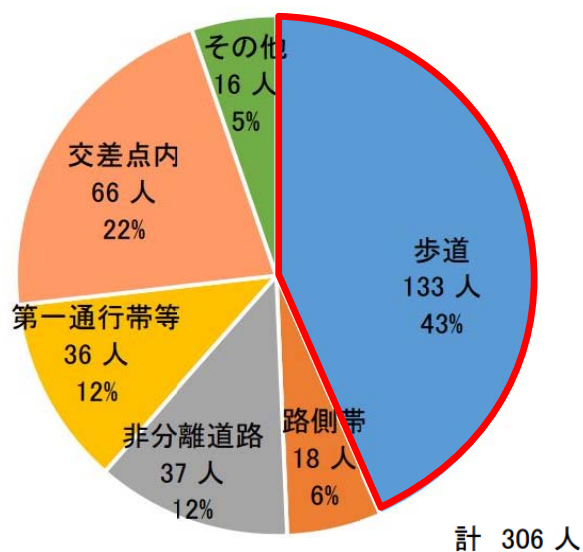
1. 現状

- 自転車は私たちにとって**身近な交通の一つ**であり、通勤・通学や買い物など子供から大人までだれでも気軽に利用することができる。
- 近年ではサイクリングルートや自転車通行空間の整備が進められており、**自転車が安全で快適に利用しやすい環境づくり**が進められている。
- フードデリバリーサービスの登場により、街中で自転車を見かける機会はさらに増加した。



2. 課題

令和2年度における、自転車対歩行者事故における衝突地点別歩行中死者・重傷者数では**歩道が約40%**を占める結果となった。



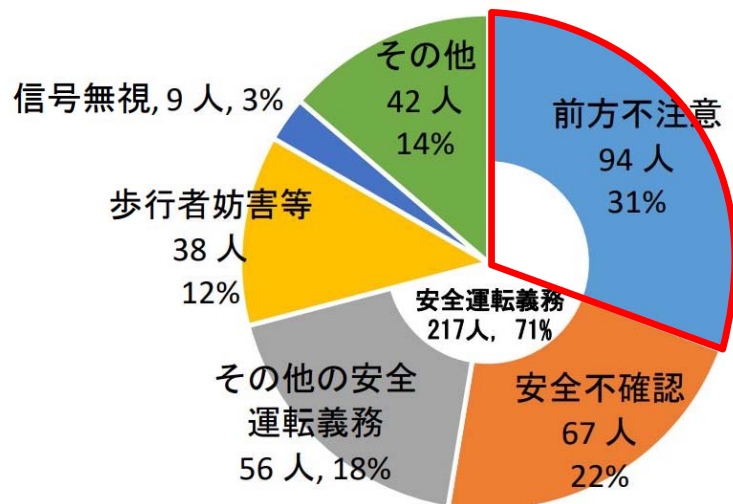
歩道を通行する自転車を
車道通行させる必要がある



出典：警察庁交通局

2. 課題

自転車対歩行者事故における自転車の法令違反別歩行中死者・重傷者数では
前方不注意が約30%を占める結果となった。



計 306 人

原因の一つとして
スマートフォンを見ながら
通行している可能性



出典：警察庁交通局

3. アイデア

MR(複合現実)ゴーグルを用いて、**設定したルートを表示**することでスマートフォンを確認しなくても**走行ルートが分かる**ようにする。

右左折や分岐など
数m手前から表示する

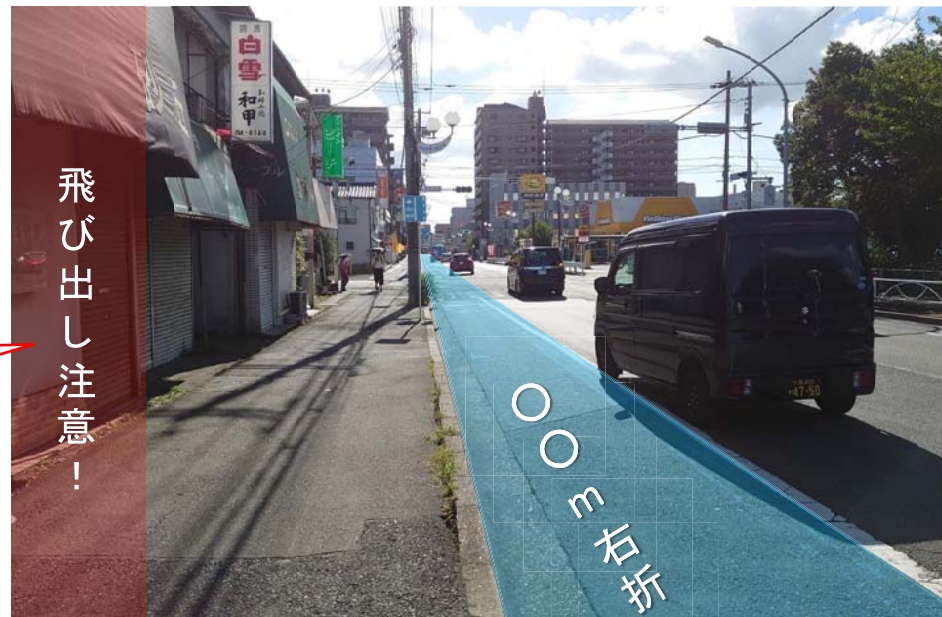
MR:専用のゴーグルを装着して、
CGを現実世界に映し出すことができる技術
(出典:NTT西日本)



3. アイデア

歩行者、自動車などの**飛び出し**が**予測**されると危険であることを示す**アラート**を表示することで**事前に事故を回避**する。

飛び出し注意
のアラート



3. アイデア

歩道通行した場合は**車道を走行**するように促す。

(自動車交通量が多い場合は歩道の車道寄りを走行する。)

車道通行を促す際は
使用者に警告するため
赤色で示す

